

屋久島の 魅力に迫る！ 番外編



— 岡崎製材の山マニア！ 新海和俊 編 4 —

好評の新海編、白谷雲水峡 続編です。

2時間の幻想的なトレッキングを終え、お風呂でさっぱりして、さあ昼食！
帰りの飛行機の時間が気になるものの屋久島に来ているのに、この3日間屋久島の名物を食べていない！と、必死で名物を食べられる食堂を探しました。

私の前にこのコラムを担当した平松が書いたように、焼酎は夕食時に堪能したものの、翌朝に山登りが控えている私はあまり量を飲むことも出来ず（それがなくても、平松には勝てませんが…）、いまさらながら「山」以外のことに興味を持っていなかった自分を後悔し、いろいろな食堂を3人で探し回りました。ところが2時過ぎだと準備中の看板ばかり。

結局名物料理が食べられる店は見付からず、3日間で屋久島の名物を食べずに、レトルト食品とお菓子、スーパーの惣菜で過ごしてしまいました。ですが、食事以上に山と森の美しい空気と景色が私の心を満たしてくれました。

屋久島というと深い森のイメージですが、実はそれ以外にも大自然を満喫するスポットがいっぱい。黒潮の深い青色の海でのシーカヤックは海亀に合える可能性もあり。さらに、上流にはほとんど何もなく驚くほど綺麗な川でのリバーカヤック、沢登りなど、こんな小さな島で、海・川・そして山を満喫できるのです。自然が大好きなわたしにとっては非常に魅力的な島だと実感。

温泉も数か所あり、なかでも平内海中温泉は、海岸の岩場に湧く温泉で脱衣所もなく水着も不可の混浴です。太平洋の海を眺めながら干潮前後の2時間だけ入れる温泉は、まさかのハプニングに遭遇できるかも？隠れたおすすめスポットです。

こんな屋久島の魅力に思いっきり浸った3日間で、そのパワーと心地よい疲労を充分体に蓄える事ができました。



美しい川



宮之浦岳頂上にて

岡崎製材(株)総合センター 新海和俊



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社